

8-6-2 自主学習システム専門委員会

1. 主な活動の記録

- (1) 自主学習システム専門委員会の開催
改訂された自主学習教材の審査については、6月に集中して3回開催した。次年度の改訂方針の検討は12月にメール会議により実施した。
- (2) 令和5年度教材について
RCCM資格登録者の研鑽のため、更新登録の要件である自主学習システム教材について、令和5年度版の改訂内容適否等の審査、チェックを行った。
全面改訂1教材、部分改訂22教材、改訂なし3教材であった。
教材審査は、法制度、技術基準、維持・管理等の学習内容を重視した。

【全面改訂相当】

建設一般分野：インフラ DX、i-Construction、
BIM/CIMの動向と電子納品

【部分改訂】

建設一般分野：「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（品確法）とコンサルタントの選定・契約
建設一般分野：建設コンサルタントと著作権
建設一般分野：建設コンサルタントと倫理
専門技術分野：河川、砂防及び海岸・海洋
専門技術分野：港湾及び空港
専門技術分野：電力土木
専門技術分野：道路
専門技術分野：鉄道
専門技術分野：上水道及び工業用水道
専門技術分野：下水道
専門技術分野：農業土木
専門技術分野：都市計画及び地方計画
専門技術分野：地質
専門技術分野：土質及び基礎
専門技術分野：鋼構造及びコンクリート
専門技術分野：施工計画、施工設備及び積算
専門技術分野：建設環境

専門技術分野：機械
専門技術分野：水産土木
専門技術分野：電気電子
専門技術分野：廃棄物
専門技術分野：建設情報

(3) 令和6年度教材について

令和6年1月に、建設一般分野4教材と専門技術分野22教材の作成担当者（協会内の関係委員会、外部機関）に令和6年度版への教材改訂を依頼した。
依頼にあたっては、「RCCM登録技術者は、4年ごとに登録更新講習を受講します。このため、毎年少しずつ改訂していただき、4年間で内容が一新できることが望ましいと思っていますので、積極的な改訂をお願いします。」の文言を明記した。また、令和4年度 of 受講者アンケートの分析結果を提示し、改訂の参考となるようにした。

2. 次年度の活動について

- (1) 継続して、自主学習システム教材の、更新・充実に努める。2年間以上改訂されていない教材について、改訂なしと回答があった場合は、再要請する。
- (2) 自主学習教材の学習内容やレベルについて、技術者資格登録制度への申請、登録、更新結果を受け、法制度、技術基準、維持・管理等などについての充実に努める。
- (3) さらに、令和5年度の登録更新講習受講者に対して収集している、自主学習システム教材に関するアンケートを分析し、作成担当者に改訂・改善を要請するとともに、建設一般教材の充実にについて検討を進める。

(自主学習システム専門委員会委員長

水野 雅光)